

青南幼稚園だより

5月号

平成26年 4月30日

園長 西澤 尚子

鯉のぼり

新年度が始まって3週間が経ち、進級の子どもたちは園内のあちらこちらで思い思いの遊びを展開しています。新入児は、少しずつ「幼稚園で生活する」ということを知ってきているところです。

初めの1週間は、5歳児が3歳児の朝の支度の手伝いに来てくれました。なかなか保育室に入らないでいた3歳児も、5歳児が優しく声をかけ、手をつなぐとずっと動きだせる様子が見られました。5歳児にとっても、大泣きしている3歳児に戸惑いはありますが、関わることで動き出す様子に年上としての気持ちを感じられたのではないかと思います。

5月の子どもの日に向けて、5歳児かえで組はグループでの共同製作で鯉のぼりを作りました。事前に園庭に飾った大きな鯉のぼりに子供たちは大喜びで触れようとしたり、風に泳ぐ姿を嬉しそうに眺めたりしていました。その空に泳ぐ姿をイメージして、友達と一緒に鯉の体の色や模様を話し合い、作り上げていきます。グループによって、うろこの形は星型、ハート型、リボンが型、うろこ形…といろいろなで、個性的なものが出来上がりました。

それぞれの思いを伝えながら、「自分たち」の鯉のぼりを作ることは、自分の思いを伝え、友達の思いを聞き、同じ目的に向けてよりよいものを考えていこうとする、集団生活の基盤となるところです。初めに「自分」で考えたものとは違うかもしれませんが、出来上がったときの子供たちの満足気な、泳がせることへの期待感一杯の表情は、「自分たち」のものができたことを喜ぶ気持ちを感じられたことの表れだと思います。

3歳児のいちご組は、外遊びはまだ保育室前が中心ですが、風に泳ぐ鯉のぼりを見上げ、担任と一緒に「こいのぼり」の歌を歌っていました。園庭での遊びが心地良い季節です。日本の伝統行事を教育の中に生かしながら、大空を力強く泳ぐ鯉のぼりのように子供たちが元気に、また、心豊かに育ってほしいと願います。連休もありますので、ぜひ、ご家庭でも体を動かしながら、お子さんとの会話を楽しんでみてください。意外な成長に気付くことができるかもしれません。

5歳児の鯉のぼりは、地域で飾らせていただきます。機会があればご覧ください。



かえで組・鯉のぼり製作



すみれ組・個人の鯉のぼり



いちご組・園庭にて



5月指導のねらい

- 3歳児 ○幼稚園で安定して過ごし、自分のしたい遊びを見付けたり、おもしろかったことを繰り返したりする。
○園生活の仕方が分かるようになり、先生と一緒に身の回りのことをしようとする。
- 4歳児 ○興味をもった遊びに自分から取り組み、先生や友達と遊ぶことを楽しむ。
○戸外に出て体を動かす心地よさを味わう。
○遊びの片付けや、自分の身の回りのことを自分からしようとする。
- 5歳児 ○自分の思いや考えを出したり相手の思いや考えを聞いたりして、遊びや当番活動を進めていく。
○戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わったり、身近な生き物や自分たちで植えた植物の変化や生長を楽しんだりする。